

講義内容詳細：通訳概論

年度	Academic Year 2021
授業科目名	通訳概論
学期	春学期
教員名	岩田久美

講義概要

通訳の形態や技術などを学び、さらに歴史も振り返り、通訳者に求められるものを探求します。

達成目標

この講義では、通訳の形態や技術などの実践面に加え、国内外における通訳の歴史や通訳の倫理規定、役割にも目を向け、通訳を多角的に捉えることを目的とします。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

履修の条件などは特になく、学習意欲をもって参加することを期待します。

授業計画

1	授業計画	初回ガイダンス、自己紹介、授業内容の紹介 通訳とは
	事前学習	通訳について考察しておく
	事後学習	通訳とは何かについて考察を深める
2	授業計画	通訳の形態と求められる技術
	事前学習	それぞれの場面で必要な通訳の形態について考察しておく
	事後学習	通訳の形態について整理し理解しておく
3	授業計画	意味の理論と通訳の学習法・訓練法について
	事前学習	通訳の学習法・訓練法について自らの実践も含めて考察しておく
	事後学習	通訳の学習法・訓練法を自らの学習・訓練に取り入れる
4	授業計画	ノートテイキング
	事前学習	ノートテイキングについて自らの実践も含めて考察しておく
	事後学習	ノートテイキングを自らの学習・訓練に取り入れる

5	授業計画	通訳の倫理規定、公平性、中立性
	事前学習	通訳の倫理規定や公平性・中立性がどのようなものか考察しておく
	事後学習	通訳の倫理規定、公平性・中立性を意識しながら今後の通訳業務を行う
6	授業計画	日本における通訳の歴史 東京裁判
	事前学習	東京裁判について調べておく
	事後学習	東京裁判について理解を深める
7	授業計画	日本における通訳の歴史 長崎通詞
	事前学習	長崎通詞について調べておく
	事後学習	長崎通詞についての理解を深める
8	授業計画	海外における通訳の歴史 ニュルンベルク裁判
	事前学習	ニュルンベルク裁判について調べておく
	事後学習	ニュルンベルク裁判について調べておく裁判についての理解を深める
9	授業計画	通訳の評価と通訳における専門性
	事前学習	通訳の評価と通訳における専門性について考察しておく
	事後学習	通訳の評価の仕方や専門性を自らの通訳業務を行う中で実践する
10	授業計画	通訳の訳出の影響とストレスマネジメント
	事前学習	誤訳などの訳出の影響やストレスマネジメントについて考察しておく
	事後学習	ストレスマネジメントを自らの通訳業務を行う中で実践する
11	授業計画	通訳者の役割とアイデンティティ
	事前学習	通訳者の役割とは何かについて考察しておく
	事後学習	通訳者の役割とアイデンティティについて理解を深める
12	授業計画	国内外における通訳者の養成と今後の展望
	事前学習	通訳者の養成と今後の展望について考察しておく
	事後学習	通訳者の養成と今後の展望について授業後も考察を続ける
13	授業計画	日本語の工夫(やさしい日本語)
	事前学習	やさしい日本語について考察しておく
	事後学習	通訳訓練において取り入れられる方法は実践する
14	授業計画	ゲストスピーカー 中村亮弁護士
	事前学習	質問をあらかじめ提出する
	事後学習	弁護士の求める通訳の役割について授業後も考察する
15	授業計画	まとめと全体の振り返り
	事前学習	講義全体の内容を復習しておく
	事後学習	講義全体の内容を改めて復習する

授業方法

講義が中心となりますが、適宜エクササイズやディスカッションも取り入れ、参加型の授業を行います。

成績評価方法

試験などは行わず、出席をもって評価とします。